

平成 30 年度・第 2 回定例理事会議事録

1. 招集年月日 平成 30 年 6 月 1 日 (金)
2. 開催日時 平成 30 年 7 月 3 日 (火) 午後 2 時 00 分
3. 開催場所 東北遊技機商業協同組合事務局会議室
4. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法
 理事の数 12 名 内出席理事 11 名 (議場に出席)
 監事の数 2 名 内出席監事 1 名 (議場に出席)
5. 出席理事の氏名
 高橋一則 永山恵治 堀内幸男 山内清司 伊藤樹里 佐藤裕史
 林 義信 杉本信夫 柳 漢成 木幡士朗 桜井 真
6. 出席監事の氏名
 門田祐也
7. 議長の氏名
 理事長 高橋一則
8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
 該当なし
9. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第 1 号議案 経常利益 (5 月分) に関する件<報告事項>

事務局より下記のとおり、平成 30 年 5 月末現在の検定書類・確認証紙の発給状況及び経営状況について、詳細に説明がなされ、満場一致で了承された。

(1) 検定書類、確認証紙の発給状況

区 分	検 定 書 類			確 認 証 紙		
	検 定	認 定	計	検 定	認 定	計
当月受理件数	3,201	0	3,201	4,335	0	4,335
前年同月	3,885	188	4,073	6,130	257	6,387
増減率	-17.6%	-100.0%	-21.4%	-29.3%	-100.0%	-32.1%
年度累積	7,266	0	7,266	10,146	0	10,146
前年同期累積	8,676	500	9,176	13,537	736	14,273
増減率	-16.3%	-100.0%	-20.8%	-25.0%	-100.0%	-28.9%

(2) 経営状況

○ 5月単月の営業損益

a営業損益 p5				
売上総利益	9,635,063			
		販売費及び一般管理費	13,007,217	-3,372,154

b営業外損益等 p6				
営業外収益	325,186	営業外費用		0
貸倒引当金戻入		特別損失		
		法事税、住民税、事業税	0	325,186

当月純利益(a+b)	9,960,249	-	13,007,217	-3,046,968
------------	-----------	---	------------	------------

○ 5月末現在の当期純利益(累計)

a営業損益 p5				
売上総利益	22,870,567			
		販売費及び一般管理費	27,431,745	-4,561,178
前年同月	30,584,537		23,637,402	6,947,135
差し引き	-7,713,970		3,794,343	-11,508,313
増減率	-25.2%		16.1%	-34.3%
b営業外損益等 p6				
営業外収益	627,409			
雑損失		営業外費用	0	
貸倒引当金戻入		特別損失		
		法人税、住民税及び事業税	153	
				627,256
当期純利益(a+b)	23,497,976	-	27,431,898	-3,933,922
			前年同月	8,101,764
			差し引き	-12,035,686
			増減率	-148.6%

第2号議案 各種会議開催結果に関する件<報告事項>

- (1) 6月11日開催、全商協・第2回定例理事会開催結果について
高橋理事長より、次のとおり報告がなされた。

① 登録審査委員会について

i 登録審査委員会が5月24日開催され、委員定数の変更があった。全商協は従来3名から2名となり、委員として、林会長と中村副会長が次回から出席する。また、オブザーバーとして、草加筆頭副会長と畠山副会長が出席する。

ii 販売業者登録申請における販売台数を証明する押印と販売台数に関して、日工組と日電協から信ぴょう性に欠けるので変更したい旨の意見が正式に委員会に出され、次回の10月10日まで検討会を開き意見を集約して進めて行くことにしている。その検討会を6月28日に行うことになっており、回胴遊商からの300台の基準を下げたいとの要望も含めて、全商協としての意見を統一するため、6月21日に組織委員会を開催する。

② 全機連の定数について

全商協の定数は10名となっており、他の団体とのバランスもあり、定数の見直しを図りたいとの話があり、全商協が3名、回胴遊商が現在2名を3名の案が出された。組織委員会で検討した結果、現行10名を各単組8名と言うことで、全機連に話したいと思っている。ただ、決議権は各団体1票とする案も出ている。

③ 第三者委員会設立準備委員会について

同委員会が6月6日開催され、全商から準備委員として草加筆頭副会長が出席した。第三者委員会とは、依存問題の対策内容を外部の有識者に専門的な視点から答申・提言・評価等を得るもので、メンバーは6~7

名程度と想定。今回は、第三者委員会の人選と運営方法の骨子を検討した。

- ④ 全商協の夏期休暇
全商協規程により、8/11（土）～15（水）の5日間とする。
- ⑤ 今後の理事会等の予定について
6/21（木） 14:30 組織委員会
7/10（火） 13:00 組織委員会 14:00 定例理事会
9/10（月） 13:00 組織委員会 15:00 定例理事会
10/11（木） 14:00 定例理事会
11/14（水） 14:00 定例理事会
12/13（木） 15:00 定例理事会
1/28（月） 15:00 定例理事会
- ⑥ 通常総会の進行について
省略

(2) 6月13日開催、回胴遊商東北支部との合同会議開催結果について
杉本社会貢献委員長より、次のとおり報告がなされた。

- ① 「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動について
 - i 本年（9/29）も回胴遊商東北支部・東北遊商合同で清掃活動を行うこととした。
 - ii 清掃場所についても、今年も昨年同様「牛越橋」とすることとした。
 - iii 組合員の案内文発出日は、申し込み人数に偏りが出ないように、両組合同日発出とする。
 - iv 9月初旬に行われる仙台市の実行委員会には、回胴遊商東北支部側からは渡部氏が、東北遊商側からは木幡社会貢献副委員長が出席するよう、杉本氏が今後調整する。
- ② 「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動終了後の懇親会について
 - i 昨年同様、本年も両組合合同による懇親会を開催することとした。
 - ii 場所についても、昨年同様「茂庭荘」にすることとした。
 - iii 茂庭荘の予約及び当日の買出しは東北遊商が担当する。（昨年、子供用のソフトドリンクとおにぎりが足りなかったので、考慮すること。）
 - iv その他詳細については、東北遊商の杉本氏と回胴遊商の田苗氏が調整を行う。
- ③ その他合同で出来る活動がないかについて
回胴遊商から、日遊協が参加している海岸防災林再生事業の紹介があったが、本年度の申し込みは終了している。来期の申し込みは本年9月頃

に分かるので、情報が入ったら知らせするが、検討材料にして欲しい旨の説明があった。

④ 合同ゴルフコンペについて

先に各組合員に案内を出していた、合同ゴルフコンペの参加希望人数が、東北遊商が12名、回胴遊商が17名となった。

回胴遊商側は、補助金の関係で20名を確保する必要があることから、東北遊商側に申し込んだ(有)仙台第一遊機の千葉氏と(有)第一遊機の山内氏を回胴遊商申込に調整し、東北遊商10名、回胴遊商19名+ α =20名とすることとした。

今回は来賓の招待は無しとした。

組み合わせ等詳細は、回胴遊商の渡部氏と東北遊商の杉本氏に一任することとした。

⑤ 東北における機械流通上の諸問題について

i 認定機の売買流通のトラブルについて

東北遊商、回胴遊商とも販社がシステムで確認できるので、特に問題は発生していない。

ii 点検確認時の腕章について

東北遊商側は、全商協では再配布を行った。また、メーカーで直接扱っているので不足等の問題は発生していない。

iii リサイクルの関連施設の見学について

回胴遊商では既に4回実施している。東北遊商は未実施なので、今後、回胴遊商側で施設見学を実施する場合は、合同で実施することを検討して欲しい。

iv 取扱実務費について

東北遊商、回胴遊商にダブル加盟している販社の取扱実務費の徴収方法について、今後の対応を、どうあるべきか討議がなされた。

v 日曜納品の解消について

北海道では来期から日曜納品を無くす準備が進められている。東北でも検討出来ないかについて討議がなされた。

(3) 6月18日開催、東北遊商・第3回機械流通委員会開催結果について
山内専務理事より、次のとおり報告がなされた。

① 顔認証システム携帯端末に関する件

i 携帯端末見積りに関する件

KDDI 東北支社(3名)を招致し、「中国遊商」のパナソニック製「FZ-N1」・「東遊商」の京セラ製「TORQUE G03」両機器の料金・条件等の説明をいただいた。

また、中国遊商・東遊商での支払い方法及び、当組合で用いた際のシミュレーション、参考まで現在使用している携帯端末(E06SH)との支払い対比を確認した。

前回の委員会において、各委員より確認結果の報告を受け、作業上の取扱いが良い中国遊商のパナソニック製が優れており導入を想定し説明を受けたが、パナソニック製機器価格が高価であったため KDDI 社に再度提出していただき、次回、初期費用も含め再度討議する。

ii 中国遊商・東遊商への訪問に関する件

中国遊商並びに東遊商に、運用を開始されてからの善し悪し及び、取扱いについてのアドバイス等を伺うべく、7 月上・中旬に再度両組合へ訪問する。

訪問者を、QR システムワーキンググループの当組合担当者の大久保委員、柳(廣村商事)・柏木・桜井・柳(ニズ)委員とし、2 グループに別れ訪問する。

② 特例営業者(優良ホール)へ向けた講習会開催に関する件

i 開催日時 平成 30 年 6 月 22 日 (金) 午前 10 時より

ii 出席者 「東北遊商」永山委員長、柳委員、柏木委員
「回胴遊商」鈴木満輝 中古流通委員(有グランデ)

iii 特例営業者(優良ホール)法人名 (株)朝日会館 (青森県)

iv 受講者 5 名(5 店舗)

v 講習内容

	講習会内容	担当
1	開会挨拶	永山委員長
2	中古遊技機流通健全化要綱及び中古遊技機取扱業務実施要領の条文解説	柳 委員
3	特例営業者による中古ぱちんこ遊技機の営業許可・変更承認関係書類の作成要領について	千葉局長
4	ぱちんこ遊技機点検確認マニュアル解説	柏木委員
5	中古(回胴式)遊技機の流通及び認定申請に関する業務について	鈴木委員(回胴遊商)

③ 取扱主任者『更新時』講習会開催に関する件

i 開催日・開催場所・開始時間・委員出席者について

開催日	会場	出席者
9月3日(月)	青森・アップルパレス青森	山内・大久保・局長・次長
4日(火)	盛岡・ブライイトイン盛岡	山内・柏木・局長・次長
5日(水)	郡山・郡山ビューホテル	柳(廣村)・柳(ニズ)・局長・次長
6日(木)	仙台①・組合会議室	永山・局長・次長
7日(金)	仙台②・組合会議室	桜井・局長・次長

開始時間は、全日午後 1 時より。各会場、1 日 1 開催とする。

ii 今年度の受講対象者について

東北遊商身分証明書有効期限 平成 30 年 9 月 30 日迄の身分証を所持している『59 名』(6 月 18 日現在)。

iii 講師及び試験官について

今年度においても、実技試験の試験官は試験を公平に期すべく、第三者の(有)ジャパン・セキュリティ・サービス社・高石社長、同社社員 4 名へ依頼をする。

iv タイムスケジュール (約 120 分)

No.	内 容	時 間(120 分)
1	講習会開会挨拶・趣旨説明	10 分
2	筆記試験 ○×式 20 問(80 点合格)	20 分
3	オリエンテーション(高石氏)	20 分~30 分
4	実機遊技機を用いた実技試験	60 分
5	講評・閉会挨拶	10 分

v 実機遊技機を用いた実技試験の内容については納品時の全工程を行う

No.	内 容
1	東北遊商 身分証明書を提示
2	ビニール開封されていない事を確認の上、セキュリティーシール剥離する
3	点検確認チェックリスト表を参考にペンライトを用いて点検確認(27 項目) また、くぎ確認シートを使用してくぎ状態の確認
4	確認証紙を所定の箇所に貼付する(真似)
5	スキャナーで QR データを読み取り、顔画像・QR データを送信する
6	管理者署名・押印後(代役)、点検確認受渡書(副)を管理者に提出する (管理者と点検確認受渡書の受け渡しをする)
7	組合(特設)へ保管納品確認書・点検確認受渡書(正)・セキュリティーシール提出

vi 遊技機等の準備物について

No.	準 備 物	型式名等	手配社名
1	遊技機 5 台(ガラス)	CR 魔法先生ネギま! MM	検討
2	遊技機枠 5 枠	-	検討
3	玉、トランス	-	高石氏より

vii 開催通知及び再試験日について(案)

1	7 月 23 日(月)	各社個人宛に開催案内通知(受講希望 2 会場選択)
2	8 月 6 日(月)	受講希望締切り
3	8 月 7 日(火)	受講日確定案内通知
4	9 月 3 日(月)~7 日(金)	『更新時講習会』開催
5	9 月 7 日(金)	再試験案内通知
6	9 月 10 日(月)	合格通知及び新身分証明書・返納書発送
7	9 月 14 日(金)	『再試験日』(講師・・・ 検討) 新規講習会への希望があった際は合同で開催する。

viii 研修講師及び試験管派遣費及び会場費等見積りについて

1	(有)ジャパン・セキュリティ・サービス社	1,639,550 円
2	青森・アップルパレス青森	84,036 円
3	盛岡・ブライトイン盛岡	48,000 円

4	郡山・郡山ビューホテル	164,187 円
5	仙台①・組合会議室	6,000 円
	総 額	1,941,773 円

④ 「認定」遊技機に係わる認定通知書提出状況及び後日書類進捗状況に関する件

i 認定通知書提出状況

営業所(ホール)より受領した「認定通知書」写しの未提出数を確認され、組合は提出するよう FAX により連絡を行っているが、直接代表者へ早急に提出をするよう事務局より連絡を入れる。

ii 後日書類進捗状況及び予測

5 月末現在、後日書類を手伝っている 2 名の派遣社員を含め 3 名で確認作業を行っており約 5 割完了している。

益明けには、認定書類の作業が終わる予定であるので、完了しだい認定作業を手伝っていた 2 名の派遣社員を含め 5 名体制で行い 9 月の完了を目指し、10 月より社員での残務を行う目標としている。

⑤ 設置外の中古ぱちんこ遊技機への部品発注に関する件

i 5 月度は「発給依頼数は 2 通・台数は 2 台」であった。

ii 6 月度は、6 月 18 日現在「依頼数は 0」である。

⑥ 「新規」取扱主任者講習会開催に関する件

i 6 月度「新規」取扱主任者講習会に 1 名の希望があり、大久保委員の講師のもと、6 月 15 日に開催し合格であった。

ii 7 月度の受講希望者は 6 月 18 日現在 1 名。

7 月度は、例年 5 月に仙台で行われる、日遊協新規主任者試験で合格された方の受講希望が多い月であるので、ローテーションでは柏木委員の基執り行う予定であるが、4 名を越えた時点で、柳委員との 2 名で行う。昨年は、7 名の受講者であった。

平成 30 年度「新規」取扱主任者講習会

2018/6/15 現在

No.	開催日	開催場所	講 師	販社数	受講者数	合格者数	不合格者数
1	5 月 9 日	東北遊商会議室	柳	1	1	1	-
2	6 月 15 日	東北遊商会議室	大久保	1	1	1	-

2

⑦ 1 件書類の取扱実務費に関する件

先般、6 月 13 日(水)に開催された回胴遊商東北支部との合同会議において、ぱちんこ遊技機及び回胴式遊技機に対する「取扱実務費」の徴収方法について、双方での認識を再度共有確認することとなり、当時の資料を基に今委員会において確認を行った。

平成 22 年 12 月 6 日に開催された臨時理事会議事録によると、平成 18

年より中古遊技機の移動に係る新設及び料金設定されスタートとなった。

また、同時期に相互参入が開始となり、取扱実務費の解釈が同一販社1開店1件で「30,000円」、または、回胴式遊技機とぱちんこ遊技機それぞれ「30,000円づつ」徴収とバラバラであった経緯があった。

翌年、平成23年の相互参入解消に伴い、流通弊害の解消により組合員を救済する目的から、「東北遊商」としては、1開店1件であっても、回胴式遊技機・ぱちんこ遊技機「それぞれ」に取扱実務費を発生させることが、同臨時理事会において承認された。実施については、平成23年の1月中は周知期間とし、2月1日よりとされている。

また、上記の臨時理事会へ、回胴遊商東北支部長及び当組合員で回胴遊商に加入している者そして、当時加入申し込みしている者を招致し、理由経緯説明により回胴遊商に係る参加者全員の賛同了承を得ている。

については、今件で確認した事項を回胴遊商東北支部と合同会議を行った際に報告をする。また、機械部会員へ対しても、再確認事項として認識を促すとされた。

- (4) 7月2日開催・全商協30周年記念事業PT会議（TV）開催結果について堀内副理事長より、次のとおり報告がなされた。
- ① 全商協30周年記念事業としてどのような事業を行うかについて、顔合わせを含めて、初回打ち合わせを行った。
 - ② 事業予算が1千万円で、業界の現状から派手な事業は難しく、「記念誌の発刊」に特化して行うものとし、来年3月まで完成させるものとした。
 - ③ 記念誌発刊に際し、どの位の予算がかかるのか、印刷部数をどの程度にするのか（販社数890社＋関係各団体÷1,000～1,200部程度になるのか？）等の予備知識を、次回まで事務局に調べて貰うこととした。
 - ④ 一度、業界紙の方々に集まって貰い、写真の提供、今までの業界の流れ歴史、歴史に関わった人のインタビュー等の協力について懇談を行い、どうやって進めていくかを検討する機会をつくることとした。
 - ⑤ 上記4.の業界紙関係者との検討会を含めた、第2回記念事業PT会議を、全商協事務局会議室において8月29日又は30日に開催することとした。（日程については、事務局で調整を行う。）

第3号議案 優良ホールの取扱管理者講習会開催結果に関する件〈報告事項〉

永山副理事長より、次のとおり報告がなされた。

- (1) 開催日時
平成30年6月22日（金）午前10時～午後2時
- (2) 開催場所

東北遊技機商業協同組合事務局会議室

(3) 主催者側出席者

① 東北遊商

永山副理事長兼機械流通委員長、柳機械流通委員、柏木機械流通委員
千葉事務局長、堤事務局次長

② 回胴遊商東北支部

回胴式中古流通委員 鈴木満輝氏 (有)グランデ)

(4) 受講者

所属組合：青森県遊技業協同組合

会社所在地：青森県弘前市大字土手町4番地

会社名：株式会社朝日会館

受講者の氏名及び店舗名

受講者氏名	店舗名
白戸 初佐夫	朝日土手町店
今 靖司	FORUM-1 神田店
大黒 幸司	FORUM-1 藤崎店
工藤 育男	FORUM-1 青森店
橋内 悠佑	FORUM-1 高田店

(5) 講習内容

(午前の部)

- ① 「中古遊技機流通健全化要綱」及び「中古遊技機取扱業務実施要領」の条文解説 10:10～
(40分)

東北遊技機商業協同組合 機械流通委員 柳 成浩

- ② 特例営業者による中古ぱちんこ遊技機の営業許可・変更承認関係書類の作成要領について 10:50～
(40分)

東北遊技機商業協同組合 事務局長 千葉英悦

- ③ ぱちんこ遊技機点検確認マニュアル (DVD) 解説 11:30～

東北遊技機商業協同組合 機械流通委員 柏木信耶 (30分)

(昼食休憩) 12:00～

(午後の部)

- ④ 中古 (回胴式) 遊技機の流通及び認定申請に関する業務について 13:00～
(60分)

回胴式遊技機商業協同組合 回胴式中古流通委員 鈴木満輝

第4号議案 社会貢献活動・鎮守の森のプロジェクト「千年希望の丘植樹祭2018」の活動結果に関する件<報告事項>

杉本社会貢献委員長より、次のとおり報告がなされた。

(1) 活動日時

平成30年6月23日 (土) 10時30分～

- (2) 参加者数
43名、内13名が東北遊商より参加
- (3) 活動内容
下草刈及び植樹作業
- (4) 所要経費
全国から参加者に対する清涼飲料水の提供及びレンタカー経費として、
30,503円を支出

第5号議案 新規組合加入希望者に関する件<報告事項>

菊地顧問より、新東北京楽(株)より加入申し込みがあり、今後のスケジュール等について、次のとおり説明がなされた。

- (1) 本年4月から5月までの加入申し込み
1社1名(新東北京楽(株))
- (2) 理事会への報告
7月3日第2回定例理事会
- (3) 各部会への通知
7月3日以降、各部会長へ通知
- (4) 各部会から理事会へ加入諾否の報告(8月臨時理事会まで)
- (5) 総務委員会の開催(8月臨時理事会まで)
関係者を招致し事前審査を行い、理事会に加入諾否の意見を上程
- (6) 理事会での決定(規約で8月中と規定:8月に臨時理事会の開催)
本審査を行い、組合加入の諾否を決定
- (7) 新規加入者への諾否の通知
- (8) 許諾された場合、出資金、加入金、保証金(推薦者分も含む。)、賦課金を
納入した(組合の銀行口座に振込まれた)翌日から、組合員の資格を取得す
る。

以上により、次回臨時理事会を8月29日午後2時から、総務委員会を同日午後1時から開催することとし、また、これに伴い、各部会長の諾否の報告期日を8月28日までと決定した。

第6号議案 その他

- (1) フェイム誌への季節広告の掲載について<審議事項>
ほくとう通信社友道氏より、フェイム誌への季節広告掲載について、下記3案の提案・説明がなされた。
案1 暑中見舞いの挨拶(1頁)+組合員一覧(4頁)=5頁
170,000円×5頁=850,000円(税別)

案2 暑中見舞いの挨拶の1頁は、年間契約の1頁を使用し、組合員一覧
=4頁 170,000円×4頁=680,000円(税別)

案3 理事全員の暑中見舞い名刺広告1/4頁
50,000円(税別)

以上3案について審議した結果、案2の採用が満場一致で了承された。

(2) 通常総会の経費結果について<報告事項>

堤次長より、平成30年5月25日開催された、平成30年度通常総会の会場経費について、見積額4,448,820円に対し、最終支出額が3,679,587円であったことが報告された。

(3) 秋田県遊協「第13回チャリティゴルフコンペ」の開催と「チャリティ協賛支援金活動」への協力依頼について

本件のゴルフコンペへの参加者は、高橋理事長及び永山副理事長とし、また、協賛金は3口3万円を拠出するものとし、満場一致で了承された。

(4) 事務局の夏季休業期間について<審議事項>

平成30年8月11日(土)から16日(木)まで、事務局の夏季休業期間とするものとし、満場一致で了承された。

(5) 日遊協東北支部ボランティア活動への協賛と活動参加について
<審議事項>

日遊協東北支部から、8月18日(土)実施予定の、児童養護施設仙台天使園における夏祭りボランティア活動に対する協力要請文書が届いたものであるが、審議した結果、当組合員に対し同活動への協賛と活動参加の案内文書を発出すること。及び、東北遊商として協賛金3万円を拠出することが了承された。

(6) 北海道遊商における意見交換会結果について

6月26日から北海道遊商で開催された、各地区遊商との意見交換会の結果について、高橋理事長より、討議された項目、

- ① 各地区遊商のハンディースキャナーの状況
- ② QRシステムソフトについて
- ③ 設置外の中古ぱちんこ遊技機の部品供給
- ④ 認定機、その後の問題について
- ⑤ 北海道における遊技機の入替日程について
- ⑥ その他として、闇ぱちの問題

について、説明・報告がなされた。

また、高橋理事長より、⑤の北海道において実施予定の日曜入替の解消に関し、東北遊商として、少しずつであるが関係者に働きかけてよいかについて提議がなされ、満場一致で了承された。

(7) 関西遊商等に対するボランティア活動感謝状の贈呈について

高橋理事長より、東日本大震災時に金銭面で全国の地区遊商から支援を受けたが、これとは別に、関西遊商の総田騰（かせだのぼる）氏が中心となり、大勢で幾度となく宮城に来県され、自己完結型のボランティア活動に身をもって貢献されて頂いたことを忘れてはならないと感じており、関西遊商の組合と総田氏に感謝状を贈呈したい旨の提議がなされ、満場一致で了承された。

(8) 歴代理事長との意見交換会の開催について

高橋理事長より、8月中を目処に歴代理事長との意見交換会を開催したい旨の提議がなされ、五役参加と理事・監事の自由参加により、8月7日又は8月8日の日程を調整し開催することが、満場一致で了承された。

(9) 事務局職員の夏季賞与について<審議事項>

7月10日に基本給の1.8倍を支給することが、満場一致で了承された。

以上をもって、午後5時35分、理事会を終了した。